

・教育・保育の量の見込みと確保方策

(1)保育園、幼稚園等事業

1号認定(3歳以上・教育希望)						担当課:幼児保育課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見 込 み	見込児童数	1,577	1,549	1,155	1,121	1,047	1,001	972	□順調 ■横ばい □順調でない	
	定員	1,846	1,846	1,788	1,788	1,788	1,385	1,385	次年度にむけての課題	
	過不足	269	297	633	667	741	384	413	□あり(重大) □あり ■なし	
実 績	申込児童数		1,517	1,317	1,237	1,201	883	1,004	0	
	定員		1,846	1,653	1,636	1,604	1,239	1,412	0	
	過不足		329	336	399	403	356	408	0	
	内 訳	特定教育・ 保育施設	申込児童数	0	0	231	208	277	298	
			施設の定員	0	0	282	272	430	441	
			過不足	0	0	51	64	153	143	0
			保育士不足による 受入定員減	0	0	0	0	0	0	
			実際の定員	0	0	282	272	430	441	
			過不足	0	0	51	64	153	143	0
			利用児童数	0	0	231	208	277	298	
		確認を受けない 幼稚園	申込児童数	1,517	1,317	1,006	993	606	706	
			施設の定員	1,846	1,653	1,354	1,332	809	971	
		幼稚園及び 預かり保育	申込児童数	0	0	0	0	0	0	
	施設の定員		0	0	0	0	0	0		

【備考】

※特定教育・保育施設・・・幼稚園、認定こども園、保育所

※確認を受けない幼稚園・・・子ども・子育て支援新制度における給付対象施設としての確認を受けない旨の申出を行った幼稚園

※特定地域型保育事業・・・小規模保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業

※「実際の定員」は、保育士数による受入可能な人数です。(「施設の定員」から保育士不足により受入減となった人数)

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

2号認定(3歳以上・保育が必要)						担当課:幼児保育課			評価・分析		
年度			H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見 込 み	見込児童数		1,718	1,692	2,119	2,105	2,013	1,969	1,957	□順調 ■横ばい □順調でない	
	定員		1,984	1,984	2,138	2,138	2,138	2,466	2,466	次年度にむけての課題	
	過不足		266	292	19	33	125	497	509	□あり(重大) □あり ■なし	
実 績	申込児童数		1,722	1,950	1,936	1,927	2,057	1,840	0		
	定員		1,984	2,234	2,300	2,105	2,552	2,267	0		
	過不足		262	284	364	178	495	427	0		
	内 訳	特定教育・ 保育施設	申込児童数	1,722	1,757	1,748	1,700	1,663	1,622		
			施設の定員	1,984	2,041	2,112	2,105	2,158	2,049		
			過不足	262	284	364	405	495	427		0
			保育士不足による 受入定員減	29	33	77	69	149	119		
			実際の定員	1,955	2,008	2,035	2,036	2,009	1,930		0
			過不足	233	251	287	336	346	308		0
			利用児童数	1,721	1,757	1,745	1,698	1,660	1,619		
	幼稚園及び 預かり保育	申込児童数	0	193	188	227	394	218			
		施設の定員	0	193	188	227	394	218			

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

申込児童数における計画と実績の乖離(△129人)については、近年の出生児童数の減少に伴い、見込みより少なくなっている。
 定員における計画と実績の乖離(△199人)については、主な理由の一つとしてmemorytree社山が令和5年度中の開園を見込んでいたが、開発工事の遅延等に伴い、令和6年度に開園がずれこんだことで、定員が減ったもの。保育士不足による受入定員が減となっているが、今後、申込児童数は減少していくが見込まれ、随時、受け入れが可能であるため、特段の対策は必要ないと考えられる。

3号認定(3歳未満・保育が必要)						担当課:幼児保育課			評価・分析			
年度			H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向		
0歳児	見込み	見込児童数	180	195	215	227	238	250	263	□順調 ■横ばい □順調でない		
		定員	195	213	217	229	241	249	249	次年度にむけての課題		
		過不足	15	18	2	2	3	▲1	▲14	□あり(重大) ■あり □なし		
	実績		申込児童数	235	224	230	246	220	209			
			施設の定員	190	205	219	233	239	240			
			過不足	▲45	▲19	▲11	▲13	19	31	0		
			保育士不足による 受入定員減	4	10	16	34	44	52			
			実際の定員	186	195	203	199	195	188			
			過不足	▲49	▲29	▲27	▲47	▲25	▲21	0		
		内訳	特定教育・ 保育施設	申込児童数	217	190	186	188	156	148		
				施設の定員	172	172	175	175	175	178		
				過不足	▲45	▲18	▲11	▲13	19	30		0
				保育士不足による 受入定員減	4	10	16	34	44	52		
				実際の定員	168	162	159	141	131	126		0
				過不足	▲49	▲28	▲27	▲47	▲25	▲22		0
			特定地域型 保育事業	申込児童数	167	158	154	141	130	124		
				申込児童数	18	34	44	58	64	61		
	施設の定員	18	33	44	58	64	62					

1・2歳児	見込み	見込児童数	912	961	974	971	999	1,007	1,013
		定員	920	978	1,005	1,005	1,005	1,110	1,110
		過不足	8	17	31	34	6	103	97
	実績		申込児童数	921	911	871	876	889	877
			施設の定員	948	979	1,011	1,035	1,060	1,064
			過不足	27	68	140	159	171	187
			保育士不足による 受入定員減	25	57	110	140	170	189
			実際の定員	923	922	901	895	890	875
			過不足	2	11	30	19	1	▲2
		内訳	申込児童数	885	843	774	760	751	740
			施設の定員	909	898	903	903	915	917
			過不足	24	55	129	143	164	177
			保育士不足による 受入定員減	25	57	110	140	170	189
			実際の定員	884	841	793	763	745	728
			過不足	▲1	▲2	19	3	▲6	▲12
		特定地域型 保育事業	申込児童数	860	824	755	745	725	715
			施設の定員	36	68	97	116	138	137

※認可外保育施設に入所した方は、申込児童数から除いています。

認可外保育施設入所者数	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
0歳児	3	6	0	5	0	0	
1・2歳児	0	0	0	0	0	0	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

申込児童数における計画と実績の乖離(0歳児△41人、1・2歳児△130人)については、出生児童数の減少による3歳未満児全体の人数の減少によるものと考えられ、計画時と比較して0歳児で172人(1,050人→878人)、1・2歳児で270人(2,121人→1,851人)それぞれ減となっている。
ただし、入所申込率が増となっていることを踏まえると、女性の就業率の上昇等による保育ニーズの上昇は見込みを越えたものとなっている。
また、0歳児においては、保育士の不足等により利用定員未満で児童の受入れを制限している施設もあり、依然として申込児童数が受け入れ可能人数を超過している状況が続いており、民間事業者と連携して保育の受け皿を確保するとともに、人材育成及び人材確保に向けた取り組みを行っていく必要がある。
1・2歳児の定員における実績の乖離(△46人)については、主な理由の一つとして、memorytree社山が令和5年度中の開園を見込んでいたが、開発工事の遅延等に伴い、令和6年度に開園がずれこんだことで、定員が減となったものである。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	保育園管理運営経費【幼児保育課】	152,420	149,476	154,382	168,138	155,435	
02	保育所等整備補助事業【幼児保育課】	559,766	33,000	20,707	96,716	221,913	
合計		712,186	182,476	175,089	264,854	377,348	0

・地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

(1)		延長保育事業				担当課:幼児保育課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み	利用児童数	946	946	974	975	966	963	967	□順調 ■横ばい □順調でない	
	実施箇所数	23か所	25か所	29か所	31か所	33か所	34か所	34か所	次年度にむけての課題	
	提供量	946	946	974	975	966	963	967	□あり(重大) □あり ■なし	
	過不足	0	0	0	0	0	0	0		
実績	利用児童数	884	970	815	811	755	734			
	実施箇所数	23か所	26か所	29か所	31か所	32か所	33か所			
	提供量	884	970	815	811	755	734			
	過不足	0	0	0	0	0	0	0		

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策											
実施箇所数における計画と実績の乖離(1か所)については、memorytree社山の開園が令和6年度にずれこんだことに伴うものである。 利用児童数における計画と実績の乖離(△229人)については、入所申込率が増となっている一方で、延長保育の利用児童数が見込みよりも低い水準で留まっていることを踏まえると、女性の就業率の上昇等により保育ニーズが高まっているものの、その就業先の多くがパートタイムなどの短時間勤務の職種であることが推測される。今後、利用希望者の増加が生じた場合にあっては随時受け入れが可能であるため、特段の対策は必要ないと考えられる。											

▶ 量の確保実現のための財源投入状況 (単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	早期延長保育事業【幼児保育課】	206,404	213,932	210,688	214,097	208,443	
02	私立保育所早期保育等事業費補助事業【幼児保育課】		2,046	2,810	3,644	4,176	
合計		206,404	215,978	213,498	217,741	212,619	0

(2)	放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)					担当課:こども課 社会教育課			評価・分析	
年度			H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向
見込み	利用 児童数	1年	807	817	319	319	334	320	305	□順調 ■横ばい □順調でない 次年度にむけての課題 □あり(重大) ■あり □なし
		2年			238	253	242	253	243	
		3年			197	186	189	181	189	
		4年	150	150	87	97	88	89	85	
		5年			36	36	39	35	36	
		6年			8	9	9	9	8	
		計	957	967	885	900	901	887	866	
	実施箇所数		15か所	15か所	16か所	16か所	16か所	16か所	16か所	
	提供量		1,163	1,163	1,460	1,460	1,460	1,475	1,475	
過不足		206	196	575	560	559	588	609		
実績	利用 児童数	1年	711	775	246	295	327	319		
		2年			227	191	237	280		
		3年			140	155	139	154		
		4年	94	91	59	70	83	70		
		5年			24	35	45	50		
		6年			11	13	21	31		
		計	805	866	707	759	852	904	0	
	実施箇所数		15か所	15か所	16か所	16か所	16か所	16か所		
	提供量		1,436	1,642	1,661	1,819	1,880	1,937		
	過不足		631	776	954	1,060	1,028	1,033	0	

▶ 量の確保実現のための財源投入状況 (単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	放課後児童健全育成事業【社会教育課】	117,142	131,475	131,482	137,008	145,998	
02	放課後児童健全育成事業補助事業【こども課】	22,881	39,324	31,420	34,938	36,498	
合計		140,023	170,799	162,902	171,946	182,496	0

(3)		子育て短期支援事業				担当課:こども課		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見 込 み	延べ利用者数	20	20	20	20	20	20	20
	実施箇所数	4か所	4か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所
	定員	20	20	20	20	20	20	20
	過不足	0	0	0	0	0	0	0
実 績	利用 児童数	ショートステイ	7	7	26	11	12	15
		トワイライトステイ	0	0	0	0	0	0
	実施箇所数		5か所	6か所	2か所	1か所	1か所	2か所
	定員		7	7	26	11	12	15
	過不足		0	0	0	0	0	0

評価・分析	
成果動向	
□順調 ■横ばい □順調でない	
次年度にむけての課題	
□あり(重大) ■あり □なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策	
乳児院等の施設と契約により実施しており、施設の利用状況によっては受入不可となる場合があるため、契約施設数を増やしていく必要がある。	

▶ 量の確保実現のための財源投入状況		(単位:千円)					
No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	子育て短期支援事業【こども課】	39	278	121	132	182	
合計		39	278	121	132	182	0

(4)		地域子育て支援拠点事業				担当課:こども課		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見 込 み	利用児童数	7,178	7,016	8,016	8,065	8,114	8,163	8,212
	提供量 (箇所数)	子育て 支援センター	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
		児童館	14か所	14か所	14か所	14か所	13か所	13か所
実 績	利用児童数		7,919	6,876	3,870	4,236	5,081	5,531
	提供量 (箇所数)	子育て 支援センター	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	
		児童館	14か所	14か所	14か所	14か所	13か所	

評価・分析	
成果動向	
□順調 ■横ばい □順調でない	
次年度にむけての課題	
□あり(重大) ■あり □なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策	
新型コロナウイルスの影響による入館制限や保護者の来所控えが徐々に緩和され、利用児童数も回復傾向にあるものの、引き続き魅力あるイベントの企画や施設の適切な維持管理を行い、安心して来所できる場の提供を行っていく。	

▶ 量の確保実現のための財源投入状況		(単位:千円)					
No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	子育て総合支援センター管理運営経費【こども課】	28,993	31,246	30,680	31,605	29,791	
02	北部子育て支援センター管理運営経費【こども課】	8,867	10,086	9,431	9,962	10,574	
03	南部子育て支援センター管理運営経費【こども課】	6,743	10,509	10,698	10,671	11,274	
04	児童館管理運営経費【こども課】	97,929	105,637	112,215	114,469	113,085	
05	児童館維持補修事業【こども課】	0	4,604	4,666	3,346	3,890	
合計		142,532	162,082	167,690	170,053	168,614	0

(5)		幼稚園における一時預かり事業				担当課:幼児保育課		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見 込 み	利用児童数	1号認定	2,897	2,845	1,568	1,522	1,422	1,360
		2号認定	59,175	58,123	44,111	44,116	42,472	41,851
		計	62,072	60,968	45,679	45,638	43,894	43,211
	実施箇所数		5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所
	定員		61,250	61,250	60,912	60,912	60,912	60,912
実 績	過不足		▲ 822	282	15,233	15,274	17,018	17,703
	利用児童数	在園児	26,107	30,847	28,457	27,657	34,994	33,755
		在園児以外	0	0	0	0	0	
	実施箇所数		5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	
	定員		61,250	61,250	60,912	60,912	60,912	
	過不足		35,143	30,403	32,455	33,255	25,918	27,157

評価・分析	
成果動向	
■順調 □横ばい □順調でない	
次年度にむけての課題	
□あり(重大) □あり ■なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策	
利用児童数における見込みと実績の乖離については、利用児童数の見込みがアンケート調査を基に作成したものであることに対し、実際の利用児童数は、各年度の保護者の希望者の状況等により左右されるためであると考えられる。 利用希望者が定員を下回っており、今後、利用希望者の増加が生じた場合であっても受け入れが可能となっているため、特段の対策は必要ないと考えられる。	

(6)		保育園・ファミリー・サポート・センター事業 (就学前児童)などにおける一時預かり事業				担当課:幼児保育課 こども課		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見 込 み	利用児童数	14,328	13,982	2,897	2,918	2,955	2,931	2,909
	実施箇所数	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所
	定 員	保育園	11,160	11,160	936	936	936	936
		子育て支援センター	3,192	3,192	3,192	3,192	3,192	3,192
		ファミリー・サポート・センター	2,256	2,256	1,584	1,584	1,584	1,584
		計	16,608	16,608	5,712	5,712	5,712	5,712
実 績	過不足	2,280	2,626	2,815	2,794	2,757	2,781	2,803
	利 用 児 童	保育園	385	397	145	139	146	170
		子育て支援センター	1,295	1,065	600	617	925	896
		ファミリー・サポート・センター	1,199	1,105	964	196	27	225
		計	2,879	2,567	1,709	952	1,098	1,291
	実施箇所数	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所	
	定 員	保育園	10,512	10,440	10,548	10,548	10,548	
		子育て支援センター	3,192	3,033	3,075	3,044	3,047	
		ファミリー・サポート・センター	1,584	1,572	1,260	1,212	1,224	
		計	15,288	15,045	14,883	14,804	14,819	0
	過不足	12,409	12,478	13,174	13,852	13,721	13,608	0

評価・分析
成果動向
□順調 □横ばい ■順調でない
次年度にむけての課題
□あり(重大) ■あり □なし

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策
新型コロナウイルスの影響による利用制限や利用者の利用控えが徐々に緩和され、利用児童数も回復傾向にあるものの、ファミリー・サポート・センター事業では、引き続き、安心して利用できるよう援助・依頼会員共に啓発を行いながら実施していく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況							(単位:千円)
No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	一時的保育事業【幼児保育課】	504	262	248	305	303	
02	幼児一時預かり事業【こども課】	5,559	6,261	6,341	9,034	9,374	
03	ファミリー・サポート・センター設置事業【こども課】	5,026	6,022	5,794	5,874	6,065	
合計		11,089	12,545	12,383	15,213	15,742	0

(7)		病児・病後児保育事業				担当課:幼児保育課		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見 込 み	利用児童数	1018	994	855	857	856	858	852
	実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	定員	876	879	876	876	873	876	876
	過不足	▲ 142	▲ 115	21	19	17	18	24
実 績	利用児童数	206	111	42	126	88	166	
	実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
	定員	876	870	879	879	879	879	
	過不足	670	759	837	753	791	713	0

評価・分析
成果動向
□順調 ■横ばい □順調でない
次年度にむけての課題
□あり(重大) □あり ■なし

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策
利用児童数における見込みと実績の乖離については、利用児童数の見込みがアンケート調査を基に作成したものであることに対し、実際の利用児童数は、各年度の病気の流行等に左右されたり、予約後に病気がよくなった等の理由によりキャンセルが生じるためであると考えられる。 利用者数が定員を下回っており、今後、利用希望者の増加が生じた場合であっても受け入れが可能となっているため、特段の対策は必要ないと考えられる。

量の確保実現のための財源投入状況							(単位:千円)
No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	病児・病後児保育事業【幼児保育課】	6,907	7,375	2,757	1,100	3,927	
合計		6,907	7,375	2,757	1,100	3,927	0

※知多市と共同で事業を運営しており、幹事市(持回り制)が2市分の補助金を受取り、幹事市でない市は負担金を支払うため、決算額が年によって変動するもの

(8)		ファミリー・サポート・センター事業(就学児童)				担当課:こども課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み	利用児童数	505	505	1,033	1,024	1,024	1,025	1,005	□順調 □横ばい ■順調でない	
	定員	2,256	2,256	1,584	1,584	1,584	1,584	1,584	次年度にむけての課題	
	過不足	1,751	1,751	551	560	560	559	579	□あり(重大) ■あり □なし	
実績	利用児童数	867	722	463	325	128	194			
	定員	1,584	1,572	1,260	1,212	1,224	1,296			
	過不足	717	850	797	887	1,096	1,102	0		

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

新型コロナウイルスの影響による利用制限や利用者の利用控えが徐々に緩和され、利用児童数も回復傾向にあるものの、引き続き、安心して利用できるよう援助・依頼会員共に啓発を行いながら実施していく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	ファミリー・サポート・センター設置事業【こども課】	5,026	6,022	5,794	5,874	6,065	
合計		5,026	6,022	5,794	5,874	6,065	0

(9)		利用者支援事業				担当課:こども課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み箇所数		2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	■順調 □横ばい □順調でない	
実績箇所数		2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所		次年度にむけての課題	
									□あり(重大) □あり ■なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	子育てサービス利用者支援事業【こども課】	4,843	4,844	8,402	8,624	9,001	
合計		4,843	4,844	8,402	8,624	9,001	0

(10)		妊婦健康診査				担当課:健康推進課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み件数		1,222	1,218	1,064	1,060	1,050	1,042	1,035	■順調 □横ばい □順調でない	
実績件数		1,045	1,009	948	969	925	811		次年度にむけての課題	
対象者数		1,063	1,012	979	936	923	839		□あり(重大) □あり ■なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

対象となる妊婦の数が減少していることから、計画と実績に乖離がある。今後も定期的な受診を促し適切な保健指導を推進していく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2020)	R2決算 (2021)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	妊産婦・乳児健診事業【健康推進課】	128,157	120,230	124,981	118,429	116,218	
02	妊婦医療助成事業【国保課】	14,044	11,457	13,858	12,988	8,985	
合計		142,201	131,687	138,839	131,417	125,203	0

(11)	乳児家庭全戸訪問事業					担当課:健康推進課			評価・分析
年度	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み件数	1,081	1,056	1,064	1,060	1,050	1,042	1,035	■順調 □横ばい □順調でない	
実績件数	1,009	998	878	942	864	863		次年度にむけての課題	
対象者数	1,172	1,196	945	983	919	831		□あり(重大) □あり ■なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策
対象となる乳児の数が減少していることから、計画と実績に乖離があるが、訪問実施率は高く、サービスとしては確保されている。

量の確保実現のための財源投入状況 (単位:千円)							
No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	乳児家庭全戸訪問事業【健康推進課】	4,320	3,445	3,813	3,769	3,329	
	合計	4,320	3,445	3,813	3,769	3,329	0

(12)	養育支援訪問事業					担当課:こども課			評価・分析
年度	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み件数	433	433	188	188	189	324	323	■順調 □横ばい □順調でない	
実績件数	167	287	331	339	242	233		次年度にむけての課題	
対象者数	25	28	21	39	29	30		□あり(重大) □あり ■なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

量の確保実現のための財源投入状況 (単位:千円)							
No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	養育支援訪問事業【こども課】	2,881	3,158	4,843	4,883	3,774	
	合計	2,881	3,158	4,843	4,883	3,774	0

(13)		実費徴収に係る補足給付を行う事業				担当課:幼児保育課		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見 込 み	利用児童数			300	292	274	263	256
	定員			300	292	274	263	256
	過不足	0	0	0	0	0	0	0
実 績	利用児童数			271	316	265	237	
	定員			271	316	265	237	
	過不足	0	0	0	0	0	0	0

評価・分析	
成果動向	
□順調 ■横ばい □順調でない	
次年度にむけての課題	
□あり(重大) □あり ■なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策							
利用児童数における計画と実績の乖離(△26人)については、出生児童数の減少に伴う新制度未移行幼稚園等への入所数の減によるもので、入所実績に応じた補足給付を行う事業のため、特段の対策は必要ないと考えられる。							
▶ 量の確保実現のための財源投入状況 (単位:千円)							
No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	実費徴収に係る補足給付を行う事業【幼児保育課】		6,939	8,964	8,042	7,445	
	合計	0	6,939	8,964	8,042	7,445	0